

### 速報

#### 第4号

じることが出来ます。

ながらが大事なと感  
近所との人のつ  
まざまな場面で、  
るお話。映画のさ  
るお話。映画のさ

いながら、街の復興に取  
り組み、自らはプロゴ  
ルファーに挑戦す  
るお話。映画のさ

十月二十七日、西播磨広域防災拠点にて『ぼうさいカ  
フェ』を開催。映画『ありがとう』の上映と感想を語る会  
日頃からの地域のつながりについて話し合いました。



速報

日頃からのつきあいが  
いざという時の底力

今回の「ぼうさいカ  
フェ」は、映画のモデルに  
なったプロゴルファーの  
古市忠夫さん、防災の専  
門家の消防庁消防研究  
センターの室崎益輝さ  
ん、ラジオ関西DJの谷  
五郎さんを囲んでの座  
談会でした。谷さんの軽  
妙な司会のおかげで、和  
やかな雰囲気の中で映  
画の感想や日頃の備え  
について気軽に話し合  
えました。



映像を通じて  
災害のイメージをもち  
備えを考える

跳ねて倒れる家具、す  
ごい音をたてながら倒壊  
する家、どんどん迫る火  
の手、立ち尽くす人々。震  
災のシーンはとてもリア  
ルでした。震災の時に小  
さかった子が、今では高  
校生になってしまつくら  
いの時間が流れました。  
震災を経験した人も震災  
を知らない人もいます。  
そんな今だからこそ、映  
画をみんなでみて、震災  
で失ったものと震災から  
学んだことを知り、何が  
できるかを考え、話した  
りすることは、私たちの  
命や大切なものを守るの  
にとっても大事です。



家族と一緒に  
学んだよ

震災のシーンにビック  
リしたけれども、みんな  
が助け合いながら地震か  
ら立ちなおっていく姿に  
感動しました。



震災をのりこえた古  
市さんが、常に話してい  
たのは「ありがとう」の  
気持ちを持つ大事さ。地  
域とのつながりが、日常  
でもいざという時でも  
お互いを助け合う原動  
力になります。



感謝の気持ちを  
常に持ち続けたら  
人と人はつながる



座談会が生んだ  
世代を超えてつながる  
「ありがとう」の気持ち

「ぼうさいカフェ」に  
は、小さなお子さんから  
学生、大人まで色々な世  
代の人達が参加しまし  
た。「ありがとうという  
気持ちを続けたい」  
「いつ起こるかかわから  
ない天災を考えるきつ  
けになった」「近所の  
人とのつながりを大事に  
したい」。この映画を通  
して、防災についてみ  
なで話したり、考えるこ  
とができました。

